



市長の施政方針に対する

代表質問

本定例会では、市長が平成20年度予算でどのような事業を行うのかという施政方針を説明し、それに対し各会派の代表から多彩な質問が出されました。ここでは、その主な内容をお知らせします。

鴻 創 会

平成20年度予算案の特徴は

問 新年度の施政方針である「更なる飛躍と前進」とは何をもって言うのか伺います。

答 平成19年度は鴻巣駅東口A地区の整備や合併後の統合整理など、極めて多くの成果をあげることができました。平成20年度は鴻巣駅東口A地区市街地再開発事業、北鴻巣駅西口土地地区画整理事業、吹上駅北口駅前広場整備事業、工業団地通線整備事業、広域循環バス運行事業などの事業を完了します。さらに、

残る施策別戦略重点プロジェクト事業であります総合的教育施設整備事業、荒川総合運動公園パークゴルフ場整備事業、非農用地活用事業、新市骨格道路（仮称）共和箕田線整備事業などを実施していくために、新年度を「更なる飛躍と前進」と位置づけ施政方針で取り組みます。

問 新年度予算案の施策別配分は、

答 施策別配分予算は、総合振興計画に

基づくまちづくりが可能となること、組織の横の連携が図られ縦割りの弊害がなくなることで、市民に解りやすい予算となること、行政評価システムが構築しやすいなどを考慮し導入します。

公 明 党

企画優先型予算と政策別施策及び事業の内容は

問 企画優先型予算とは何か

又、事業内容と予算について

答 予算の主要な点は、部課別配分型予算から施策別配分型予算へと移行したこと、7つの政策と33の施策に1000余りの事務事業に整理され総合振興計画と予算の連動が図られていることです。

問 公園親水施設整備事業は

答 せせらぎ公園の止水工事や日除け、ベンチ等の設置と荒川パノラマ公園のじゃぶじゃぶ池の修繕などの整備です。

問 かわさとグランドゴルフ場拡張整備事業は

答 平成20年度に隣接する土地2660㎡を用地買収して4ホールを増設します。

問 （仮称）共和箕田線整備事業の完成と全体の予算は

答 県道鴻巣羽生線からフラワー通りまで約1キロメートルを平成25年度目途に工事を進めていきます。全体の予算は完成時期や詳細設計などから決まります。

問 北鴻巣駅西口周辺整備事業の進捗状況とオープンは

答 宅地造成工事は本年1月末で98.7%の進捗です。オープンは11月下旬の予定

鴻巣フロンティア

健全財政の維持を

問 平成17年度から普通債より有利な合併特例債を導入し、平成19年度までに30億円程度を発行予定で、平成20年度は一般会計予算では、地方債の発行額は39億4750万円となりますが、その内容併特例債はどのくらい発行の見込みか。また、どのような事業を予定しているのか。平成20年度の予算を執行すると主要な財政指標である公債費比率、実質公債費比率はどのくらいになる見込みか。また、本市が健全財政を維持していくために、どのような財政管理を行うのかお伺いします。

答 平成20年度の合併特例債の発行額は28億8330万円です。事業は吹上駅北口駅前広場整備、二谷橋大間線街路整備、北鴻巣駅西口土地地区画整理等です。公債費比率は概ね12.2%程度、実質公債費比率が13.7%程度になると想定しています。今後の事業の実施にあたりましては、健全財政を維持していくため、公債費比率の適正な管理を念頭におき、13%を維持していくことを目標に各事業の実段階において、さらに事業内容、事業規模の精査を行ってまいります。

一人会派クラブ

住みよい街をめざして

問 ガソリン税の暫定税率が廃止になった場合の市への影響は。

答 20年度の一般会計予算で国からの歳入が約3億4000万円の減で率にして約45%の大幅な減少となります。本市の事業では道路事業、土地区画整理事業などの財源となります。

問 まちづくりの目標の中に元荒川の桜の保存は。

答 元荒川の桜並木は、本市の貴重な財産です。この維持管理はシルバー人材センターが行い、地域のボランティア

による清掃活動など市民との協働による管理が定着しつつあります。

問 市が毎年行っている基本健康診査の移行に伴う対応は。

答 20年度より生活習慣病予防のための新健診制度が始まり、国保加入者に「特定健康診査」「特定保健指導」の実施となります。これにより、平成20年度の7年後には国が内臓脂肪症候群該当者などを25%減少させることが示されました。これが達成できなかった場合は支援金を最大10%増額して支払うこととなり、国保の財政を圧迫するものとなります。

クリーン・ネット21

地方分権改革による市への影響は

問 第一期の地方分権改革がもたらした市への影響は。

答 平成12年4月1日施行の地方分権一括法により国と地方の関係が対等、協力の関係となったこと、事務権限の移譲や国の関与の抜本的な見直しなど地方分権の理念に沿った具体的措置が講じられたことについては、一応の成果があったものと理解しております。しかし、総じて国の財政再建といった色あいが濃く、本来の理想から、かけ離れた結果になってしまった面もあったものと感じております。

問 「(仮称)共和箕田線整備事業」の完成目標は。

答 新市建設計画において鴻巣地域と川里地域を結ぶ骨格道路として、新市の一体性の確立や均衡ある発展を図るため、重点的プロジェクト事業に位置づけ、県道北根萱蒲線から国道17号まで4.5キロメートルとなっており、平成20年度に都市計画決定、測量、設計等の調査関係業務を行い、用地買収と物件補償に着手し、国道17号の右折車線設置に伴う用地買収などを行い、目標として平成25年度目途に事業の推進を図ります。

社会民主党

第二段階に向けての新たな事業とは

問 市長は施政方針のなかで平成20年度は合併後の当面のまちづくりの課題に一段落をつけると同時に第二段階に向けての新たなスタートを切る年になると述べています。そこで第二段階に向けて新たなスタートとは具体的にどのような事業を指し、またその財政的裏づけは。

答 第二段階に向けての新たな事業とは総合的教育施設整備事業、パークゴルフ場整備事業、広域交流拠点整備事業(仮称)共和箕田線整備事業などです。また、財政的裏づけについては現段階では個別の議論は難しい状況にありますが、合併特例債と合併補助金が戦略原資であります。

問 施政方針のなかで北新宿第二土地区画整理事業の早期推進を図る観点からワークショップの考え方に基づき必要な再検討を行うていくとありますが、具体的にどのようなことを行うのか。また、検討結果はいつ頃出るのか。

答 平成20年度の具体的作業は見直し方策の比較検討及び見直し方針の整理、変更計画の検討等です。また、その結果は年度内を目指します。

日本共産党

「人輝くまちづくり」の実現を

問 どんなにrippな道路や再開発ビルができて、市民の暮らしがよくなる元気で人輝くまちになりませ

答 介護保険では、市民税非課税世帯の方は、負担の上限額が2万4600円から、1万2000円に引き下げられたので市独自の軽減策を行う考えはありません。障害者自立支援法による負担増、応益負担の原則と市の厳しい財政事情を勘案する中で今後、国、県の動向をみて検討する考えです。また、子ども医療費の現物給付増、国からのペナルティーがあるので困難です。

問 市民プールの跡地利用は要望の多い市民プールを建設することを求めます。

答 20年度は市内での検討会を立ち上げ方向性、進め方について検討していきませんが、施設の規模や種類、内容等も含め、皆さんの意見も聞きながら今後慎重に検討していく考えです。